

『賛助会員を募集しています』

仙台のまちに活気を生み出す芭蕉の辻にしていきましょう。ぜひ賛助会員となつてご協力をお願いいたします。詳しくはHPをご覧ください。



青葉区役所の皆さんと行われた意見交換会

仙台城に向かう道を

『大手門通』と呼ぼう！

JR仙台駅から続くアーケードの商店街と続く道は、江戸時代には仙台城の大手門から城下町につながる重要な道でした。現在、この道の大通りから東一番丁までの区間の舗道整備をしています。芭蕉の辻は、藩祖伊達政宗公が仙台

の城下町の区画を決める町割をはじめた場所です。私たちは、歴史的にも重要なこの場所を後世にも伝えて行けるように仙台市の方と協議を重ね、石畳の道や無電柱化などを提案してきました。

東北大学名誉教授 平川新氏は、この道を各商店街・各町内会名の上に統一した『大手門通り』を付けて呼ぼうと提唱されています。大手町とは、お城の大手門の前にある町のことです。

仙台城に大手門が復元されるのは2036年。12年後になりますが、芭蕉の辻まちづくりの会はそれまで、郷土を知る講演会やイベントを企画します。郷土の歴史に興味を持って、ぜひご参加ください。



令和6年
9月発行



←このQRコードから芭蕉の辻まちづくりの会のホームページがご覧になれます。

市道青葉山線芭蕉の辻 無電柱化道路整備事業について



令和8年に完成予定の芭蕉の辻の街並み(イメージ)

すでに大町一丁目からはじまった工事は終了して、いよいよ芭蕉の辻付近の工事に移ります。
令和6年(今年)9月から張り巡らされている電線を地中化するための共同溝をつくる工事が始まります。
令和8年8月からは、電線類を地中に移し、電柱が撤去されます。
そして、令和12年3月に道路の改良工事が完了する予定です。
楽しみです！

きました。集まった願いが書かれた短冊は5000枚。それを笹竹40本につけて今年も芭蕉の



こどもたちの願い、仙台市民、観光で来られた方の願いを短冊に込めて 仙台七夕 短冊通り

商店街には大きくなくす玉に吹き流しのスタイルの美しい飾りが訪れる人を喜ばせていますが、私たち芭蕉の辻まちづくりの会では、近隣の小学校に通われるお子様や七夕が近くと商店街で通行客の方に短冊を渡してそれぞれの願いを書いていただきました。集

